

徳島県鳴門市撫養小学校

日程：2019年11月6日(水)
時間：授業 14:40～15:25 (6時限目)
協議 16:00～16:45

会場：授業 大教室
協議 視聴覚室

対象：全5年生(2クラス合同) 42名

本時題名：「工業生産を支える貿易と運輸」

講師：長谷川 康男 先生
元筑波大学附属小学校副校長
元明治学院大学心理学部教育発達学科准教授



【 本時の学習 】

本時は、既習の水産業の授業の時に知った漁船、自動車産業の時に知った自動車運搬船しか写真で見たことがない子どもたちに、貿易での物資運搬用の主役であるコンテナ船やそのコンテナの写真を見せ、その大きさ、運ぶ量の多さを実感させ、子どもがその船の荷物や船員達の仕事や役割についてもっと知りたくなるように展開し、学習問題を発見させる場面である。また、時間が許せば予想を話し合わせ、調べ方を決めさせる場面でもある。

【 本時のねらい 】

○コンテナ船の大きさや運ぶ量の多さ、乗り組み期間の長さに対する“驚き”から学習問題を発見している。
また、その理由を考え、表現し、調べ方を決める。
(思考・判断・表現)

○貿易や海での運輸の主役、大黒柱であるコンテナ船、コンテナの荷物、それを運ぶ船員の仕事や役割に興味・関心をもって授業に参加する。
(主体的に学びに取り組む態度)

5年生社会科学習指導案

「工業生産を支える貿易と運輸」

主な発問・指示・説明と資料	主な活動と期待される子どもの反応	指導上の留意点
1.(1) これは、何の写真ですか？資料①普通のコンビニ (写真) (2) 輸入が止まったらコンビニはどうなるだろう？ 資料②輸入が止まったときのコンビニ (写真) (3) もし輸入が止まったら家庭生活はどうなるだろう？ 資料③エネルギーの元(石油、石炭、天然ガス)の輸入量(円グラフ)	1. (1) 普通のコンビニの写真を見る ・コンビニだ ・よく行くよ (2) 輸入が止まったときのコンビニの写真を見る ・ガラーンとしていて何も無い ・輸入が止まるとこんなになっちゃうんだ (3) 家庭生活に必要なエネルギーの元の石油の99.6、天然ガスの97.1、石炭の99.3%は輸入だ(2012年) ・食料以上に輸入に頼っている ・家の中が真っ暗 ・普段できていることができない ・クレーンが止まると熱中症で命が危ない ※石油99.7、天然ガス97.6、石炭・鉄鋼石100%(2017年)	・資料(1)と(2)のコンビニの写真を見比べて、日本は輸入が止まるとコンビニからほとんど商品がなくなることを認識させる。 ・エネルギーの元の石油、天然ガス、石炭は輸入に頼っていること認識させる。 ・日本は輸入が止まると、コンビニの食料品、生活用品に限らず、電気を使った便利で快適な生活もできなくなることをおさえる。 ・子どもの反応を生かし多くの物資輸送は船が向いていることをおさえる。(貿易の99.7%は船、0.3%は飛行機)
2.(1) コンビニの食料とか石油、天然ガス、石炭は、何で("乗り物")運んでくるかな？ (2) このような船で運びました。コンビニの商品などを積んで。 資料④コンテナ船写真 資料⑤コンテナ1個(写真) (3) 2万個のコンテナを縦に積むとどれ位の高さになるかな？ 資料⑥富士山14個分(写真)	2.(1) 何で運んでくるかを考え話し合う ・船だと思ふ。 ・貿易の99.7%が船なのか、すごく多い。 ・飛行機では重い物、多くの量は積めない。 ※2017年データでは99.6% (2) コンテナ船の大きさや運んでいる量を知る。 ・船の長さが400メートルもある。 ・一隻で約20万トンも運べるのか。 ・この船に積んでいるコンテナに商品を入れて運んでいるのか (3) コンテナ1個の大きさを実感する ・20フィートのコンテナの長さが6メートル幅2.4メートル高さは2.6メートルもある。 ・この船にこんなに大きなコンテナが2万個載っているのか	・輸入船舶の主役、大黒柱であるコンテナ船の大きさを認識させる。 ・コンテナの大きさを、教室に示しイメージさせる。 ・コンテナ船一隻に載っているコンテナの数とその高さを知らせる。

(4) コンテナの中は、どうなっているかな？ 資料⑦コンテナを開けた写真 3.船員さんは、コンテナ船のどこに乗っているのかな？ 4.学習問題を設定する。 (1) コンテナの中身は何か？何を運んでくるのかな？ (2) 船員さんはどれくらいの期間乗っているの？ 疑問に思ったことは何ですか？ (3) どんな学習問題で勉強していこうか？	・コンテナが富士山14個分の高さになる！ ・一隻の2万個のコンテナだけで！ (4) コンテナの中の荷物に興味をもつ ・荷物を10トンを積めるんだ ・中にはどんな商品を積んでいるのかな ・石油とか、冷凍食品は無理そう 3.船員さん達の居場所を見つける ・白いところかな？ ・船員は、もつというと思う ・二人の船員(船長、三等航海士)のバッジが違う 4.学習問題を設定する。 (1) コンテナで運んでくる物を考える ・中身は食料品じゃあないか ・石油は無理そう ・冷凍食品も無理そう ・何だろう？ わからない。 (2) 船員の仕事や生活について興味をもつ ・えーっ、4ヶ月から6ヶ月も ・お風呂とか、ご飯はどうしているのか ・ご飯とか寝る所はどうしているの？ ・仕事は、時間で交代するのかな？ ・どんな生活をしているのかな ＜子どもと作りたい学習問題＞ 船員さん達は、どんな荷物をコンテナに積んで運んで来るの？ どんな仕事や生活をして荷物を運んでいるの？	・コンテナの中の様子を捉えさせる。 ・コンテナを開いた写真から、輸入物を考えさせる。 ・船員さん達(船長、三等航海士、機関士)に興味をもたせる。 ・子どもの発想を生かし自由に想像させる。 ・船員の仕事と生活に目を向けさせ、長期の乗船期間に驚きをもたせ、船上での生活に思いをはせさせる。 ・自分のもった疑問やもつと知りたいことをワークシートに書かせる。
5.学習問題に対する自分の考え(予想)を決め、何を、どうやって調べたらよいか考え、ワークシートに書こう。	5.(1) 問題についての自分の考えを書く。 ・牛肉とかをコンテナに積んで… ・交代で運転したり寝たりして… (2) 問題の答えを調べる方法を考え、決める。 ・自分の予想を、次の方法で調べる ・教科書 ・資料集で ・図書室の本で ・インターネットで	・自分の予想を決め、ワークシートに書かせる。 ・一人ひとりに解決の見通しをもたせる。

徳島県鳴門市撫養小学校



↑ 授業風景①



↓ 授業風景②



↑ 授業内容

↓ 振り返り



徳島県鳴門市撫養小学校

【児童の感想】

コンビニで輸入が止まったらおかし
しド牛にやうなどがほとんど全部
なくなるよと分かりびっくりし
た。船の船長さんは両が
たになにかは知っているのが
船長さんと知った。飛行機
と船で輸入に使うなら船
は99.9%で使う。

この授業を受けて、コンテナ船
というものを初めて知りました。し
かもそれが海の主役だったの
おどろきました。コンテナ船の
ことも輸入・輸出のこともよ
かりました。これからの授業に役
立てていきたいです。ありが
ございました。

わかったこと
コンテナをたてておいたらふじ山14
14分ときいてびっくりしました。
ゆすがとまったら牛乳はなくな
いと思つたのにはなっていたので
びっくりしました。
コンテナの中がなになのかしら
いです。

わかったこと
コンテナをついたらふじ山14
分と言っていてびっくりしました。
外国ではどんな生活をしている
かについて考えるのが楽しかた
です。コンテナに入っているのが
分からないからと調べて
みたいと思いました。

分かったこと輸入が止まると
日本のコンビニには米と豆い
かが残らないことになる。日本
生産品だけ残るコンテナ船
にのせているコンテナは全部
で52000m(ふじ山の14個分)
になるらしいです。後コンテ
ナの中が何か知りたいです。

教科書にはのってない
ことがいろいろ分かりま
した。コンテナの大きさな
ども知ることが楽しか
たです。他にも写真が
いっぱいあって分かりやす
かったです。いろんな言葉
も、いっぱい分かりました。

徳島県鳴門市立撫養小学校

【児童の感想】

船長さんと一緒に海の見わけ方がわかった。大コンテナは、いっしょに2所1個つくるとしておどろいた。コンテナをたてにしたら、ふいせん14個分としておどろいた。そどうできなかった。

今回の授業で輸入がなくなるとコンビニでは商品がなくなっていくことわかりました。そしてコンテナ船の話では、すこどいかいコンテナの中に何か入っているのかさになりました。

輸入がなくなると和食などがなくなるので、国産の牛にもおもしろさを感じました。コンテナ船でコンテナを1個に運ぶ量も高かたのでおもしろい。

ぼくは、船長の話を聞いて楽しかったです。びっくりしたことは、コンテナをたてにしたら、ふいせん14個分のたかさになるということにびっくりしました。知りたい事は、コンテナの中がどうなっているのかさを知りたいです。

わかったこと、ゆにつがとま、たら国産の物は食べることでなくなるといりました。コンテナ船につまらば、コンテナをたてにしたら、ふいせん14個分たてていてびっくりしました。

コンテナ船のコンテナはどのくらい大きくなるのかや輸入がとまると、どのようになるのかさ分かりました。機械士という言葉もきいたので、これから機械士についてどんな仕事なのかを調べてみたいですね。